

専門科目講習会 実施要項

資格名		<b>エアロビック指導員</b>
養成目的		地域スポーツクラブやサークルにおいて、初心者や子どもたちを対象にエアロビックにエアロビックの基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。
役割		初めて出会う初心者を対象に、総合的な身体づくりを主眼においた指導にあたる。
受講条件		受講年度の4月1日現在満18歳以上で、地域スポーツクラブ等においてエアロビックの指導にあっている者。またはこれから指導者になろうとする者(免除条については別途定める)。
カリキュラム	共通科目	計35h(通信講座)
(詳細は別紙)	専門科目	集合30h, その他10h 計40h
専門科目 講習・試験の実施方法		<p><b>講習会実施方法</b></p> <p>カリキュラム(40時間)に基づき、JAFまたは都道府県エアロビック連盟を主管として集合講習会と通信講習(レポート)により開催する。実際の実施計画についてはJAFと日本体育協会または、都道府県エアロビック連盟と都道府県体育協会とで相談の上、日本体育協会とJAFの承認を得て実施する。</p> <p><b>検定試験の作成および実施方法</b></p> <p>JAF普及指導委員会が作成・出題し、筆記試験、レポート評価技能検定の総合評価とする。</p> <p><b>合格者の判定方法</b></p> <p>合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定結果を基に、JAF普及指導委員会で審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。</p>
更新のための義務研修		<p>資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、本会が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)実施する(認める)研修を受けなければならない。</p> <p>また、JAFの個人賛助会員でなければならない。</p>
専門科目における 講習・試験の免除について		<p>技能検定3級以上の認定登録者は、「実技試験」を免除する。</p> <p>日本体育協会「公認スポーツ指導員制度」に基づきエアロビック指導者として資格認定された者は、「種目の特性に応じた基礎理論1」の講習・試験をすべて免除する。</p> <p>JAF認定資格者は、その資格に応じて講習・試験の一部を免除する。</p> <p>(1)エアロビック準教師/エアロビック準指導員は、指導員の「種目の特性に応じた基礎理論1」「種目の特性に応じた基礎理論2」「実技」「指導実習」の講習・試験をすべて免除する。</p> <p>(2)JAF認定テクニカルアドバイザーは、「種目の特性に応じた基礎理論1」のすべての講習・試験、および「種目の特性に応じた基礎知識3」の一部を免除する。</p> <p>(1)国際大会等で特に優秀な成績を収めた者で、コーチとしての資質、能力が優れていると認められた者。</p> <p>(2)国外での資格取得者</p> <p>(3)在外研修者</p> <p>以上の者については、日本体育協会とJAF指導者育成委員会が内容・程度を審査の上、免除項目を決定する。</p>
登録料(4年間)	基本登録料	10,000円(初期登録料3,000円)
	団体登録料 または 資格別登録料	10,000円
担当委員会		JAF 普及指導委員会